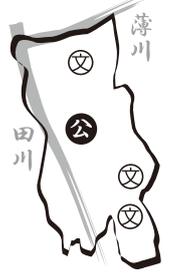


館報

庄内



庄内地区	
令和3年1月1日現在人口	
世帯数	7,049 戸
男	7,377 人
女	7,376 人
合計	14,753 人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

NEW 企画 意外と盛りだくさん! 庄内地区の「○○」を知る!

皆さまにとって庄内地区とはどういう地区ですか。

開発が進んで新しい店舗が立ち並びちよっと都会な地域?それとも弘法山古墳や神社があり、街角に石碑が立っている文化財の多い地域?

古くもあり、新しくもある、そんな庄内地区を、もっと知ってみたいと思いませんか。

今回の館報は、地区の魅力を改めて見つける「○○を知る」シリーズとして、庄内地区を探索し、地区の歴史や文化財、ちよっとした出来事や変化をお届けします。

お読みになった皆さまにとって新しい発見があったり、ちよっとしたウォーキングのきっかけになればと思います。

今回のルートは地区の南出川・並柳方面を巡り、終着点は弘法山!

庄内地区を歩くといったら中々広い! ちよっとゆめひろば庄内が地区のほぼ中央に位置しているので、そこを起点に地区の南側を探ってみたいと思います。



早速、地域の変化を発見! 仮設ポンプ施設の工事

ゆめひろば庄内を出発してすぐ、田川と和泉川の合流点に到着すると、建設業者さんが和泉川の排水ポンプ施設の工事を行っています。バツクウオーター現象といって、大雨で田川が増水すると、並柳方面の水路から流れる雨水が排水できなくなり、床下浸水に繋がる恐れがあります。この施設は、流れてくる雨水をポンプで吸い上げて田川に向けて放水するためにつくられています。

完了予定です。新しい施設の完成が遠くまで待ちますね。



歴史の記録を発見! 中田家住宅から多賀神社へ

田川を渡って細い路地を歩き、出川郵便局に出ると、隣には「中田家住宅」があります。江戸元禄頃の様子をそのまま残す邸宅で、明治天皇も訪れたことがあるとのこと。庭園は長野県の名勝として、住宅は市の重要文化財として登録されています。今もお住まいの方がいらっしやるので、外から建物の様子を眺めながら南へと向かいます。

ここから、道のあちこちに白塗りの看板が目につき始めました。この看板は、出川町史研究会という団体が残した、出川地域にかつて存在した建物跡等を記録したものです。「信楽村役場跡」、「出川番所跡地」、「出川差矢場跡地」といった数々の看板が、道の脇に建てられています。時代劇に出てくるような街並みが、ここにも存在したことの証ですね。



つら

人を愛おしく思う気持ちは、美しく尊いものです。だから古代より文学や芸術のテーマになってきました。11月初めに眞子様結婚に関するお気持ち文を発表されました。文は「私たち」とありますが、私には眞子様の相手の方に対する強いお気持ち一いわゆる恋文に思えました。恋文を一般に発表するなんて何と勇氣のある行動でしょう!ましてや、世間から色々言われるのを覚悟されてのことでしょう。相手の方についての私見は控えます。けれど私は思います。眞子様のお気持ちは真実であり、これほど愛せる人に出会った人生は素晴らしく輝かしいものではないでしょうか? それは、眞子様が以前にもまして美しくなられていることでもわかります。プリンセスですから、みんな関心が高いのは当然です。でも人を傷つけるような記事やSNSの書き込みを目にするると悲しくなります。美しく尊いものを大切にしていきたいです。

多賀神社に到着
石碑の中に震災の記録も

出川通りを進み、多賀神社に到着しました。愛称はお多賀様、延命長寿の神様で知られています。毎年9月10日と11日の2日間にかけてお祭りが開かれていませぬ。神社の入り口でちよっとした発見がありました。神社入ってすぐの看板には牛や馬引入る事を禁止するといった文面が。それも昭和20年。この時代の生活の中には、まだ牛や馬がいたことが伺えます。敷地内を探索すると、令和元年の記念樹を見つけました。何十年かすれば、この木も大きくなることでしょう。他にも震災の記録を残す石碑がありました。このような記録も残しておかないと、当時どうということが起きたのか、忘れられてしまふのかもしれない。



並柳に響く子ども達の
声を聞きながら…

多賀神社の裏側を通り、田川を再び渡って並柳へ。閑静な住宅街が広がっていますが、昔は一面セルリー畑の農業地域でした。それを示すように、町会内のグループ名が上耕地・中耕地・下耕地と分かれています。並柳公民館にたどり着くと、建物裏に「畜牛慰霊塔」を発見。ここがどういう地域だったかを読み取ることができませぬ。



やまびこ国体道路を渡り、並柳小学校の北側の道を進むと、グラウンドから子どもたちの元気な声が聞こえてきます。大勢の友達と遊び、はしゃぐ姿を見て、こちらも元気をもらった気分になりますね。小学校の少し東側の斜面にある並柳神明宮を目指します。並柳団地のちょうど北側にある斜面を進んで神明宮の入り口に到着。キツイ上り坂に息が切れますね。鳥居を潜った先に、神明宮の御由緒略誌を発見。お祭りする神様のことだけでなく、並柳という地名の由来や、先程の並柳町会のグループの区分けについても記載がありました。歴史を知るといふことは、こつとして現地に足を運んでこそ得られるものもあると思います。

自分だけの
絶景ポイントを探そう

ゆめひろば庄内から随分歩いてきました。目的地の弘法山まであと少し。並柳神明宮から弘法山までの道路を歩いていきます。登りではありますが、それほど苦にはならない程度です。斜面を見下ろすと、松本平を一望できる景色が広がっ

ていました。あいにく天気は曇りではありませんでしたが、ここまで歩いてきた分、感度もひとしおです。よくCMや観光パンフレット等に、眺めのよい景色が背景にされていますが、こういう自分だけの絶景ポイントを探し当てたことに喜びを感じます。ここに住んでいる方々は、毎日この眺めを目にしているかと思うと、何だかうらやましくなってしまうませぬ。



遺跡調査中の
弘法山に到着

山沿いを歩き、ついに弘法山の登り口に到着しました。ここまでかなりの距離を歩いてきました。最後の力を振り絞ります！弘法山は桜の名所で有名

次回も新しい発見や
出会いを求めて
今回はそれなりの距離を一気に歩き通しましたが、次の楽しみも考え、もう少し短い距離でもよかったかな？と思いましたが。また、町の変化を写真に残すこともできました。今は何気ない一枚でも、今後50年、100年後には、貴重な歴史的な記録に変わっているかもしれない。今回は地区の北側を巡ってみたいと思いますので、お楽しみに！

